

三者総会議事録（於'90夏の学校）

1. 議案書報告及び承認

◆KSS（東北大 素）

中野（京大） ; 議案書冒頭のことは科学的にどれだけ正しいのか調べたか。

担当 ; 調べ尽くしたわけではないが、英国南極基地の例では着実に影響があるということが報告されている。

開発（新潟大） ; アンケートを取ってどういう意味があるのか。

担当 ; 多くの人に関心を持っていかないといけないので、その知識を広めるという意味がある。

佐伯（京大） ; 海水浴をすると癌になるという信憑性は。

担当 ; 米国の例での警告では、オゾン量が1%減少すると皮膚癌が3%増加するといわれている。

◆準備校（大阪大）

◆将来計画（基研宇治）

担当 ; 基研院生問題を議題として提案→議題として取り上げる

◆M大連（金沢大）*M大連総会での議論の報告

大西（京大） ; M大連存続の理由は。

担当 ; M大の参加がなくても存続させていこうという意志を事務局が持っていた。他の研究室のことを知りたいなどの要求があり、担当校は大変なので負担を軽くして続けていこうというこ

とになる。春、秋は参加者が少ないので事務局の判断で M 大連総会を開くかどうか決めるということが決議された。

大西（京大） ; 議案書は春、秋には提出しないのか。

担当 ; 確認できていない。おそらく簡単な報告は行うことになるだろう。これは三者総会の議案書ではなく、M大連総会の議案書であるのでM大連総会が開かれなければ報告になる。

中野（京大） ; 報告をなくすのは春、秋だけか。三者総会に代表者がこられるか。こられないなら三者とM大連との話し合いの場なくなるが。

担当 ; 夏の学校では議案書も出す。代表者については詳しい議論がなされていないが、夏の学校では従来通りのことが必要であろう。

鈴木（基研宇治） ; M大は今どのくらいあるのか。

担当 ; 今資料が無いが、20 くらいある。→ 報告なので承認は取らない

◆若手活動・三者センター（京都大）

担当 ; 議案書 2 を議題へ→ 議題として取り上げる

◆私大問題（東海大・千葉大）

大西（京大） ; “地方大、M大等他の担当校と密接にやっていくのが望ましい” とあるが、具体的には。

担当 ; まだその段階ではなく、これから考えていきたい。

大倉（新潟大） ; 私大問題というのはどの程度あるのか。私大の方で問題意識を持っている人が少ないのでは。他の担当校と一緒にやっていく方向にならないか。議題として提案したい。

議長 ; センター議案書 2 と同じ問題なのでそこで議論したい。

(承認)

◆学体センター（神戸大 素）

鈴木（基研宇治） ; 省令を受けて学位規則を改正したとあるが、危機感のある改正はあったか。

担当 ; 非論理的な改正ではなく、それほど改悪といったものではないと考える。今後問題が出たときには対応しないといけない。

◆地方大問題（広島大 素）

担当校 ; 実際には何も活動できなかったため議案書も提出出来ない。お詫びする。

中野（京大） ; センターの責任も半分あるのでいいにくいだが、活動しなかったのは、1. 地方大問題とは何が問題なのかわからなかった。2. 知っているけれど今特に問題はない。3. 問題はあるがいや。となったのか。

担当校 ; 担当者でないので答えかねる。

山中（基研宇治） ; 昨年度の担当者が就職してしまい、M2 は今就職活動しており M1 しかいないことをコメントしておく。

（承認という形にしないことを確認）

◆M 大問題（お茶女）

（欠席のため、手紙を代読）

センター補足 ; 何が問題なのか、本当に問題はあるのかが問題。M 大連との兼ね合いもわからないといったことである。

（承認という形にはしないことを確認）

◆OD 問題（広島大 核）

以上承認

2. 議論事項

A. 基研院生問題

◎基研宇治の院生枠利用について

- 大西（京大） ; 院生を取ることのメリット、デメリットを教えて欲しい。
- 山中（基研宇治） ; 研究の activity が高まるのはメリット。OD 問題がどうなるかがデメリット。
- 鈴木（基研宇治） ; 学生の立場からみると、院生枠が少なくなるのは権利の放棄につながる。院生を取ることはデメリットにはならない。
- 辻（神戸大） ; 院生は全国から取るのか。
- 鈴木（基研宇治） ; 普通の大学院と同じである。
- 中野（京大） ; 次のことを紹介しておく。基研は共同利用研であり、スタッフにも任期がついている。activity のセンターとして KEK などがあるが、基研は organize のセンターとしての意味づけをしている。activity のセンターという意味づけをするなら院生がいないのはナンセンスだし、organize のセンターとするなら院生は取れないという考え方をする人もいる。
- 菅沼（京大） ; 現在、Doctor を終えた人が結構きていて活発に交流しているが、施設としては限界である。院生を取ると、施設の問題もあり、OD になって行けなくなるということも考えられる。慎重に広い意味で考えるべき。
- 山下（大阪大） ; 施設の規模と院生を取る capacity は。
- 山中（基研宇治） ; 現在院生は 10 名弱。Pos-Doc 2 名。外国人講師室と宿泊室がある。
- 辻（神戸大） ; 宇治と北白川で合併したとき、北白川は取る意志はないのでは。
- 大西（京大） ; 将来計画によっては院生を取るということは無いわけではない。
- 議長 ; 院生を取ることに賛成の立場としては Master から取る方が activity は高まる。反対の立場としては Master につきっきりになり、共同利用研としての運営が難しくなる。
- 鈴木（基研宇治） ; OD が増えて困るといのは、研究者は少ない方がいいということになるのでは。
- 菅沼（京大） ; そういうことではなく、OD が多くきて交流する中が狭められ得るということで、現在は活発に交流があり、その交流も activity の 1 つであり、それが狭められるのは後退であろう。
- 鈴木（基研宇治） ; スタッフの立場は必要なく、我々の側の権利が後退する院生枠の減少を守る立場で議論すべきでは。

- 中野 (京大) ; 院生枠がなくなるというのは特に宇宙論天体分野については、これまで理論研が activity のセンターであったことからシビアな問題になるのは確かである。
- 水鳥 (京大) ; 核理論の立場からいえば organize の役割をして欲しい。今スタッフは 2 人しかいない。核理論の範囲は広がっており、共同利用研にある意味での学派は育てて欲しくない。生え抜きの基研の人がいないという方が望ましいと思う。理論研は Doctor から編入できる枠として重要であるといわれていたが、実際はどうか。
- 山中 (基研宇治) ; 編入は昨年度 1 名。過去にも数例あったことは知っている。
- 鈴木 (基研宇治) ; organize の役割としてもう少し説明を。
- 水鳥 (京大) ; 誰でも研究計画を提出でき、スタッフが研究計画の世話人になってもらったりサポートしてくれる。
- 大西 (京大) ; 研究計画をだれでも、核理論ではスタッフの分野に関わらずどんな分野でも提案でき、お金の面などサポートしてもらえる。院生を取ってグループを作ると、自分の研究所という感じになってそのグループと異なる分野では研究計画が通りにくくなる。
- 議長 ; 基研北白川は完全な organizer で広大理論研は activity のセンターでグループを形成し activity をそこで高めて行くという違いがある。この違いは研究者としての問題であり、院生枠の問題は院生の権利の問題である。
- 上沢 (金沢大) ; 院生枠の問題は基研宇治の院生全体としての危機意識か。及び、宇宙論の集まりとしてはどうか。
- 山中 (基研宇治) ; 将来計画担当として提案した。宇治の院生に危機感がある。天文夏の学校では議論はなされていないと思う。
- 菅沼 (京大) ; 院生枠の消滅は宇宙論分野で重大なのにどうして議論が無いのか。
- 鈴木 (基研宇治) ; 多くは宇宙論というのではなく、その意味では天文の人は危機感が少ない。
- 山中 (基研宇治) ; 三者みたいな活動は天文関係ではないと思う。
- 大西 (京大) ; 天文若手は、事務局と若手の会があって、意見を持ち込むことは可能だそうだ。
- 鈴木 (基研宇治) ; Organize の center と activity の center は両立しないのか。また院生の立場だけから権利を主張すればよいのでは。

- 菅沼 (京大) ; デメリットが無いというのは自明ではない。院生だから権利だけ主張すればよいというのは稚拙であり、今後の動向なり潮流なりを見据えるべきだ。
- 水島 (京大) ; 共同利用研の activity を高めるのは院生を取るだけではない。他の場所へ行って研究する support や学振等で activity は高められる。将来のことは将来の立場で議論すべきだ。
- 中野 (京大) ; なぜ神経質になるかという、合併の時に動いた経験を踏まえて慎重になっているということはある。両立し得ないということはないと思う。KEK では加速器があるが、string の研究会も活発に行われており、一概にはいえない。
- 水島 (京大) ; 例えば KEK では計算機を使うにも staff を通してしかできないことになっていた。核理論では staff の方が努力して下さって使えるようになった。また地方大では科研費の当りが、そう多くはないはずだ。
- 山下 (阪大) ; 受託生を取るといった方法を開拓するという方向はどうか。
- 佐伯 (京大) ; 基研が KEK と同じになるのは反対。基研が誰かの研究所であってはいけないと思う。visitor 制度を充実させるべきだと思う。
- 中野 (京大) ; この場で我々は何をすべきかという段階になっている。院生問題は暫定案では 3,4 ページの内、2 行しか触れられておらず、あまり意識されていない。staff の意識を高めるためにも何かいうべきだ。しかし院生の立場だけからいうと合併の時の二の舞になる可能性がある。
- 議長 ; 何かものをいわなければいけないというのは consensus であろう。いくつか案を出し consensus の得られるところまで煮つめて行きたい。consensus が得られないなら、意見表明をしないということになる。
- 山中 (基研宇治) ; 院生としての権利を主張するという観点から
案 1 : 旧理論研の院生がなくなるのはゆゆしき問題であり、共同利用研の organizer の役割を損なわない程度に院生を取る。固有の院生または受託院生として取る。master から取る。
- 水島 (京大) ; 基研の共同利用研の organizer の activity を重視するという立場から
案 2 : organizer としての立場を重視し、固有の院生は取らない。理論研の過去の経緯を尊重し受託院生を doctor から取る。
- 菅沼 (京大) ; 宇宙論関係のみ残すのか。

- 鈴木（基研宇治）； 特定の分野に限るということはすべきでない。
- 上沢（金沢大）； 過去の経緯というのは理論研が院生を取ってきたという意味か育ててきたという意味なのか。後者を主張すべきだと思う。
- 水鳥（京大）； 基本的には後者。
- 鈴木（基研宇治）； 過去の経緯を尊重するならば master から取るべきではないか。
- 水鳥（京大）； organizer の立場を重視している。
- 佐伯（京大）； 院生枠はなくすべき。現在でも共同利用研の役割をちゃんと果たしているとは思えない。新しい制度をためらわずに導入すべきである。全国共同で若手を育てていくのも共同利用研の形としてあるはず。
- 案 3： 長期 visitor 制度の導入。院生としては取らない。
- 辻（神戸大）； 受託院生と固有の院生は同じではないか。
- 山中（基研宇治）； 基本的には master から固有の院生。駄目なら受託院生という意味。
- 菅沼（京大）； 1 と 2 では master からと doctor からの違いならそこは伏せて主張してはどうか。
- 水鳥（京大）； 駄目です。固有の院生は取らないというのが主眼点なので明記して欲しい。
- 上沢（金沢大）； 院生を取るかそれに代わるものかという consensus を得られるのではないか。
- 佐伯（京大）； 過去の経緯を踏まえてといった後向きの案ではなく新しい案という意味で案 3 の内容には固執していない。
- 稲垣（広大）； 理論研の院生枠は広大に残っていて其れをどうするかは煮詰まっていない。
- 中野（京大）； 院生あるいはそれに代わる制度を残すというのは consensus を得られていると思う。院生問題が粗略に扱われているということを指摘しておくのは院生の権利主張である。案 3 の受託院生というのを“何人かの若手が宇治にきて議論できるという制度”としては。意見表明できないなら“公開質問状を出す”。まとまらないなら並列意見、参考意見でもよいと思う。
- 鈴木（基研宇治）； consensus が得られたとは思えない。固有の院生を取るかどうかで意見の開きがある。この議論をまとめた形で公開質問状を出すのは手であり、ここにいない若手にはアンケートを取るなどの必要があると思う。

山下（阪大） ; なんらかの形で取ることについては doctor からでよいと思う。原子核三者としては、“doctor 以降の受託院生制度もしくは長期 visitor 制度を作る” というべきだ。

夜の部

鈴木（基研宇治） ; どの案かを採用して次の部員会に出すといったあわてることは必要ない。中途半端な妥協案は作らない方がよい。

議長 ; 固有の院生は必要なのか。

鈴木（基研宇治） ; 宇宙論、重力理論に限れば研究教育環境は日本で有数である。そこに大学を終えたひとが参加できなくなるのは残念だ。固有の院生を取ってもらいたい。他の分野の人には説得力が無いかも知れないが。

丸山（京大） ; 宇治でも環境は恵まれているのか。

鈴木（基研宇治） ; ある程度大丈夫だと思う。

佐伯（京大） ; “これまでの基研の運営形態は変えない” というのが原則になっているので固有の院生を取ってくれといってもたぶん駄目。例えば宇治で基研の金を使って若手の交流をするなどの方がよいだろう。

水鳥（京大） ; 院生を取れといっても通らないという状況認識は必ずしも自明でなく、北白川の staff でも欲しいひとはいる。

佐伯（京大） ; もし固有の院生を取るといっても宇治からの要望ということになるのでは。

鈴木（基研宇治） ; organizer と固有の院生とはどうして両立できないのか。

水鳥（京大） ; 基研に根付いた学派というものが出来てしまう。

鈴木（基研宇治） ; 基研の staff は何をしているのか。

大西（京大） ; 研究者としての立場から判断すべきことがあり、研究者が運営するのがよい。

鈴木（基研宇治） ; その研究者は研究するなということにならないか。

水鳥（京大） ; activity を高めるのに固有の院生が必要ということはないという意味だ。

鈴木（基研宇治） ; activity を高めるには院生が必要だ。

山中（基研宇治） ; 我々が利用していくという立場から他の大学の人はどう考えているかききたい。

- 山下（阪大） ; 案3の長期 visitor 制を活用すれば master も利用できるということになるのでは。
- 鈴木（基研宇治） ; master の単位が取れないということになる。
- 木野（九大） ; 地方の方からみると案2がよい。
- 大野（金沢大） ; お金の面から、研究会など恩恵を被っている。研究環境の悪いところは共同利用として重要である。どんどん独自の研究をしてもらえばよいが、共同利用としての意義が失われるのは好ましくない。
- 上沢（金沢大） ; 宇宙論のひとの立場からは研究者を育てて行くところが減るのは良くないといえるが、考えはまとまっていない。
- 大倉（新潟大） ; 今の基研が使いやすいかわからないが、固有の院生を取ったときにどうなるかはさだかでない。地方大の立場からいえば、もし院生がいたとしても共同利用研としても不便なく使えるようにして欲しいという希望はある。
- 鈴木（基研宇治） ; 基研を共同利用するというときの活動はどういうことをさしているのか。
- 木野（京大） ; 共同利用という名目の予算があり、全国の研究者が研究計画を出せる。

議論中断三者企画へ

B. センター議案書2

◎三者体制再編について

- 菅沼（京大） ; サテライトの後の“学体センター”は複数担当校にするのがよい。大学間交流など、メリットがある。
- 鈴木（基研宇治） ; 名簿校を一つにするのは負担が増えるのでは。
- 木野（京大） ; 一つの大学に素粒子と原子核があれば可能。お金の面では、2倍配ることになるが、単純に2倍の費用がかかるというものでもない。

- 大倉（新潟大） ; 素粒子パートのほうは名簿をお金を取って配っているそうだが、原子核ではただで配っているので不利。多くの若手から名簿を集めないといけないので相当負担になる。パートで残しておいて交換するほうがよいのでは。
- 佐伯（京大） ; 原子核はなぜただなのか。
- 大西（京大） ; 原子核はパートの会費 800 円を払っている。三者のほうからまわるお金も入っている。従って間接的に払っている。
- 議長 ; サテライトをまとめることについてはどうか。
- 開発（富山大） ; サテライトはアンケートを配って報告書を出しているが、それに意味があるのか。“学体センター”という“統合されたサテライト”も不必要なのでは。
- 鈴木（基研宇治） ; 何か問題なのかわからない、問題を探さないといけないというプレッシャーで探しているようになっている。三者としてにたような研究をしていて、共通の利害を考え、また問題意識というのは構成員からだしてそれを汲み上げて担当校が資料を作ったりして報告するといったもので、サテライトをすべて無くしてしまうことには反対。何か危機感が生まれたときに猛烈に働けばよい。
- 佐伯（京大） ; さらの箱を一つ用意しておくという意味で、いわば duty free で、問題があれば対応していくというほうが望ましい。
- 水田（東北大） ; 全廃ではなく、問題が起こったときにそのつど担当校を決めて対応していくほうがよい。“学体センター”に常に担当校がいなくても良くて、問題が起こったときに決めてもよい。
- 佐伯（京大） ; 今の意見だとどうしてもセンターに荷重がかかるので、やはり“学体センター”を作って責任と義務を一箇所にまとめず、箱を用意しておくほうがよい。
- 大西（京大） ; 毎年サテライトを作り直すとそれはセンターの仕事になってしまう。余裕が無いとできないので、duty free などところが考えていくほうがよい。
- 中野（京大） ; センターから。具体的には、
1. 三者センター：三者の取りまとめ。総会運営。センターニュース発行。
 2. 夏の学校準備校：夏の学校の準備、運営。
 3. 各パート：講師、研究会、予稿集、講義録作成。アブストラクト類作成。パートの仕事。

4. 名簿校：名簿の発行。
5. “学体センター”：(統合されたサテライト)
6. 若手活動・三者体制 W.G.：体制改編議論。

- 山下 (阪大) ; これを可決した場合，“若手活動 W.G.”というのは、2～3年で消滅させるのか。
- 中野 (京大) ; 体制再編を W.G. で議論してもらうのは、この提案が暫定的なものということ。
- 辻 (神戸大) ; O.D., 私大など、継続的な問題があって、それを扱うのに1～2年で変えていくのか。実質的に O.D. 問題などが起こらなければ、それはやらないのか。
- 大西 (京大) ; この案は最低限これだけを行うということ。次期体制は現在通りで、W.G. で1年かけて議論を煮詰めていきたい。各サテライトにこれまでの活動を整理してもらう期間が必要。
- 上沢 (金沢大) ; 担当校の数を減らすことを1義的にしているが、それはおかしい。毎年やらないといけない work は残しておいてもよい。議案書の“問題点”にあるように、若手活動の継承の面からある程度残しておくべき。統合するのは賛成だが、完全になくすべきではない。名簿校はやるのがきっちり決まっているのだから、若手活動の継承の面からも分けておいてもよい。M 大連は三者と独立して書かれていたが、現体制の認識として各パートと同じところに位置するものと思っていたがどうか。
- 佐伯 (京大) ; 各パートと M 大連は実質上同レベルだろう。
- 中野 (京大) ; M 大連が議案書から落ちていたのは訂正する。M 大連は三者から独立しているという認識だった。三者総会でも議案書という形ではなく M 大連報告という形である。
- 佐伯 (京大) ; 各パートも同じ立場だからそうとも言えない。
- 大西 (京大) ; M 大連は別なものという認識。三者とは殆ど独立したものである。各パートはセンターでなくても準備校と密接につながっているという意味で異なる。
- 水島 (京大) ; 各パートの意見交換はないというが、2年ぐらい前までは三者総会で報告していた。
- 議長 ; 議案書の承認に移りたい。ただし、
- * 次期は現体制のまま。W.G. で議論。
 - * 次々期から実施を目標。
 - * 名簿校については open problem

- 佐伯（京大） ; 京大に Working Group を任せてもらいたい。まず三者体制を改編して、夏の学校の充実についてはこれから考えていきたい。
- 鈴木（基研宇治） ; 具体的には W.G. で煮つめていくということか。
- 中野（京大） ; 基本的にはそうである。それと、サテライトを減らすことについて原則を作った。“統合されたサテライト”を作るという方向で進むということが提案の1部。
- 議長 ; 承認に移る。

承認

3. 次期体制

三者センター	名古屋大
準備校	東北大
KSS	都立大 素
O.D.問題	神戸大 素
学体センター	東工大 素
私大問題	新潟大, 早稲田大
地方大問題	金沢大 素
M 大問題	奈良女
将来計画	基研宇治
若手活動・三者体制 W.G.	京都大 理
M 大連事務局	茨城大

以上承認

附. 三者企画

◎基研院生問題について

- 議長 ; * (三者総会での議論, 案 1.2.3. の紹介)
- * 共同利用研のイメージについて議論を行いたい
- 山 (京大) ; 旧理論研は共同利用研ではなかったが, 教育, 研究環境が良かったということだが, 共同利用研となると今までのような環境が保持されるとは限らないのではないか。
- 中 (基研宇治) ; 必ずしもそれは自明ではなかろう。
- 三伯 (京大) ; 今の基研が共同利用研として best ではない。院生に限らず O.D. についても居場所のない人はいるわけで, 共同利用研として門戸をもっと開くべき。今は所員と所員でない人の差がある。本来誰が基研にいてもいいという形であるべきだ。
- 議長 ; 旅費の面では。
- 三伯 (京大) ; 旅費, 滞在費を払っても, 居たい人はいるのではないか。基研が visitor にお金をかける必要は必ずしもない。
- 議長 ; 講義, 単位については。
- 中 (基研宇治) ; 理論研では master の単位に関する講義は, 広大で行っていた。講義については案 1 では, 京大理と一緒にするというイメージである。
- 西 (京大) ; KEK ではどうなっているか。
- 野 (京大) ; KEK で formal な講義はないと思う。只, staff で突発的にこれこれの分野の若手を育てようという時には集中講義をやっている例はある。共同利用研のイメージでは, 教育の duty があるのはおかしい。staff がある分野で若手を育てようとか, 若手が staff を突き上げてある分野を研究していくという形であるべき。
- 野 (京大) ; 例えばこの院生が何か研究したいとし, 同じことがしたい人が九州と北海道にいたとすると, 共同利用研で旅費をもらって出来る。そこに staff が居ると例えばアトムで開きに行く。いないとそこに同じ興味の院生がいたら行きやすいだろうから居たほうがよいともいえるが, 逆に興味を持たない固有の院生が居たら行き難いということもある。

- 議長 ; 固有の院生がいると、コネがあれば使いやすい、なければ使いにくい。1か0。固有の院生がいないと、スタッフについて1か0になるのでは。
- 中野(京大) ; 案3だと、研究計画を出すまでは煮詰まってないが共同利用の場として議論をしに付ける。だから、旅費を全額もらうというのは虫が良すぎる面がある。
- 山中(基研宇治) ; 中野氏が言ったように、masterでも平気で入って行って人をつかまえて議論できる、もうちょっと上だと研究計画を出して旅費をもらって議論しに付ける、そういうのがイメージだが、そのときそこに同年代の人がいる方がアクセスしやすいのではないか。
- 佐伯(京大) ; 今は研究会がmainでvisitorはmainでない。2~3回の研究会ではそれっきりで、研究しようとする最低2~3カ月必要。その意味でvisitor制を充実させるべきだ。
- 議長 ; 共同利用研に居ると院生としては仕事が増えるだろうが。
- 山中(基研宇治) ; 引っ越しの時、図書が3万冊有り、もう共同利用研のものになったがその手伝いを今もしている。それでもプラスである。
- 中野(京大) ; 共同利用研に院生がいてそこに若手がどんどん来て共同研究が出来るというのはいいが、あるシニアスタッフの意見だが今のKEKで若手、学振の人がたくさん居るが、果してそこでいい研究をしているのか、という批判があるのも事実。
- 佐伯(京大) ; 受託院生だとバラバラだからそういうことになるのかもしれないが、まとめる意味で院生がいたほうがいいと言えばいいかも知れない。
- 辻丸(名大) ; 元の基研が共同利用研としての機能を果たしているとは思えない。理想的な共同利用研を作るのもいいが、理論研の働きは高く評価している。数研の様に院生を取って且つ研究会を開いて共同利用研としての役割を果たしているところもある。activityとしては院生を取っていることは必ず良いことで、その上で共同利用研の役割を果たせるのではないか。院生を取ることに賛成。
- 議長 ; 数研は講義をやっているのか。
- 辻丸(名大) ; やっている。数研は、共同利用研としてはどうか知らないが、元の基研と比べてその程度の役割は果してきているのではないか。
- 佐伯(京大) ; 水鳥さんのいっていたデメリットは宇治のスタッフが内向きになって良くないということだろうが、制度として外に向かざるを得ないようにすればさほど院生がいてもいいような気が

する。

- 角田 (大市大) ; master からしてみれば、その場所に master が居てくれたほうが行きやすい。
- 平林 (大市大) ; 共同利用研自身が研究について activity を持っている必要はないのでは。全国の研究者がそこで共同研究をして activity をたかめる。固有の色はない方が良いのではないか。
- 大野 (金沢大) ; 研究としての activity を高めるのと共同利用の activity を高めるのと両立しないとは思えないが、これまでの共同利用のあり方が十分とは思えないし、院生がいるとさらに不十分になると言う危惧はある。
- 辻丸 (名大) ; 共同利用におけるスタッフの役割は、単に研究会を開く場所か。自由にそこに入って議論したいと言うのは、そこに activity がないといけないのでは。閉じてしまうという点については制度で解決できるし、スタッフの意欲があれば問題はない。むしろ activity を上げることに重心をおくべきだ。
- 中野 (京大) ; 一理あるが反対です。activity がなければ魅力がないと言うのは正しいと思うが、固有の院生を取って activity を高めていって魅力を高め、しかも共同利用ができる。素粒子だとプリンストンが浮かぶ。そこまで考えると、基研がそこまでなっているのかと考える。最先端だとある意味でふらふらと研究方向が動く。
- 辻丸 (名大) ; 理論研の様な独自性を出す。分野を狭めるとその様な面があるのも一面だが、先端を追究するのと色を出すのとは別だ。
- 佐伯 (京大) ; activity を高めるといふ将来計画は取らない。共同利用研として且つ activity が高いというのが理想。共同利用研の院生も duty free とはいえない。
- 落合 ; 歴史的に生物物理だとかあったが、具体的に新しい学問を育てる上でどういう組織をしたのか。
- 中野 (京大) ; 誰かさんのワンマンだからこそできたものであるんじゃないか。誤解があるかも知れないが。
- 山中 (基研宇治) ; 地方の人を脚蹴にしているつもりは毛頭なくて、どんどん来ていただいて、アトム型の子算も確保できて利用して頂いて、僕らも discussion して勉強していきたいと、おそらく宇治の連中も思っている。その意味で固有の院生も若い人もどんどん来て欲しいと思っている。誤解のないように。